

TOTO ビジネッツ株式会社 健康経営宣言 & 推進ビジョン

～社員一人ひとりが安心・イキイキと挑戦できる環境づくりを目指して～

1. 経営者メッセージ

【人財サポート・サービスのプロフェッショナルとして、Well-Being を実現する】

当社は、TOTO グループ各社の人財・総務等のバックオフィス業務を支える人財サポート・サービスのプロフェッショナル集団です。当社のビジョンである「期待を上回るサポート・サービスを実現し、必要とされ続ける企業」となるためには、その基盤となる社員一人ひとりの「Well-Being(心身の健康と幸福)」の実現が不可欠です。全従業員の約8割を占める女性社員をはじめ、多様な人財が安心してイキイキと挑戦できるよう、「日々を大事にチャレンジ」「お互いに認め、感謝」する風土を醸成するとともに、健康経営を経営戦略の根幹として推進することを宣言します。

代表取締役 水谷 美咲

2. コラボヘルス推進体制

TOTO 株式会社のヘルスケアセンター(事業所保健師・産業医)、TOTO 健康保険組合、弊社が密に連携する「コラボヘルス推進体制」を構築しています。また、従業員代表を交えた安全衛生委員会ではストレスチェックの集団分析結果の共有や、健康課題解決に向けた産業医講話のテーマ選定などを実施しています。

TOTOビジネッツ コラボヘルス推進体制

～三位一体で強力に進める健康経営～

TOTOビジネッツでは、代表取締役がTOTO株式会社の人財本部長を兼任する強固な統括体制のもと、専門医療スタッフ・健康保険組合・社内推進部門が相互に密を連携する「三位一体」のコラボヘルス推進スキームを構築し、全社的な健康経営を展開しています。



トップリーダーシップ(推進責任者)

TOTOビジネッツ 代表取締役 兼
TOTO株式会社 人財本部長

グループの人財戦略と直結した強固な
リーダーシップで健康経営を強力に推進。

1. TOTO(株)人財本部 ヘルスケアセンター

産業医・保健師による専門的な健康・メンタルサポートと産業保健活動を展開。

2. TOTO健康保険組合

健診データの分析・活用や健康増進イベントを通じたコラボヘルスを推進。

3. TOTOビジネッツ 事業企画部

現場に即した社内健康施策の企画・運営・周知と職場環境改善を牽引。

3. 主な健康指標(実績値&KGI 目標)

TOTO ビジネッツでは、従業員の心身の健康維持および生活習慣病・がんの早期発見に向けて客観的な数値指標を設定し、PDCA サイクルをまわしています。

評価指標(	2024 年度実績	2025 年度実績	目標(KGI)	達成年度
定期健康診断の受診率	100.0%	100.0%	100.0%	-
定期健康診断後の精密検査受診率(法定項目)	100.0%	100.0%	100.0%	-
特定保健指導実施率 ※1	100.0%		100.0%	-
ストレスチェックの受験率 ※1	97.0%	98.5%	100.0%	2030年度
ストレスチェックの高ストレス者割合 ※1	7.5%	14.7%	0.0%	2030年度
喫煙率	2.8%	4.2%	0.0%	2030年度
運動習慣者比率 1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施	18.1%	22.2%	30%	2030年度
健康ポータルサイト登録率	96.6%	96.6%	100.0%	2030年度
プレゼンティーズム ※1	-	16.6%	15%	2030年度
アブセンティーズム ※1	-	0日	0日	2030年度
平均勤続年数 ※2	14.4 年	14.6 年	-	-
労働災害発生件数	0 件	0 件	0 件	-
乳がん検診受診率(女性対象) ※1	85.1%	87.0%	100.0%	2030年度
子宮頸がん検診受診率(女性対象) ※1	78.7%	83.7%	100.0%	2030年度

※1 本籍が TOTO ビジネッツ

※2 本籍が TOTO ビジネッツ且つ正社員のみ

4. 重点施策:女性の健康保持・増進と生産性向上

■ 女性特有の健康課題への手厚いサポート体制

当社は女性従業員比率が高く(約8割)、婦人科がん(乳がん・子宮頸がん)の早期発見・予防および月経・更年期障害(PMS等)による体調不良防止を最重要課題と位置付けています。

具体的には健康保険組合との協業のもとに以下の施策を運用しています:

・健診・検診環境の整備:

婦人科検診費用の全額補助、敷地内でのバス検診および就業時間内受診の認定。

・女性向け医療相談・プログラム:

女性向け医療相談アプリ「ルナルナ」の導入、月経痛や PMS 改善のための低用量ピル費用補助。

・柔軟な休暇・相談支援:

積立休暇(ウェルネス・セルフケア目的)の取得推進、ヘルスケアセンター女性保健師による個別相談体制。

■ プレゼンティーズムとアブセンティーズムの抑制

体調不良による突然の欠勤(アブセンティーズム)や、出勤していても心身の不調により本来のパフォーマンスを発揮できない状態(プレゼンティーズム)を未然に防止することは、業務品質の向上に直結します。婦人科検診 100%達成やヘルスリテラシー向上のための各種施策を通じて、従業員がいつでも相談できる心理的安全性を確保し、安定した高品質サービスの提供を実現します。

■ ワークライフバランスの推進と健康風土の醸成

有給休暇を 100%取得できるように推進し、在宅勤務やフレックス勤務などの制度の活用を推進していきます。健康増進・メンタルヘルスについては、各種健康イベントへの参加勧奨、セルフケア／ラインケア研修の実施、ストレスチェック集団分析と職場改善の実施などを通して、心理的安全性が高く、従業員一人ひとりが心身ともに健康でイキイキと挑戦できる職場風土を醸成してまいります。

5. 今後のロードマップと持続可能な職場づくり

TOTO ビジネッツ株式会社は、コラボヘルス推進体制のもと、PDCA サイクル(計画・実行・評価・改善)を継続的に回してまいります。従業員一人ひとりが健康で高いモチベーションを持ち、互いに感謝し認め合える企業文化を醸成することで、TOTO グループの「きれいで快適・健康な暮らしの実現」に貢献し続けてまいります。